

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第282号

発行日 2025年6月1日発行

5月10日～11日 青年塾 第二回志実践発表大会

皆さんこんにちは、社長の近藤です。5/10 - 11に青年塾の第二回志実践発表大会が開催され、私も東海クラスの塾頭として参加をしてきました。皆さんに、改めて「青年塾」とは何かをご説明しておく、上甲晃さんが25年前に立ち上げられた私塾で、日本全国から学生・社会人など幅広い年齢の人が集まり、地域ごとに学びある講座を企画・運営し、人間力を学ぶための実践活動です。

上甲塾長は現在83歳、青年塾の立ち上げ以前は松下電器（現パナソニック社）に31年間在籍し、松下幸之助氏の薫陶を受け、松下政経塾の塾頭を務められた方です。青年塾の卒業生は合計2,000名に達し、多くの志ある若者を輩出しています。

今回の全国大会では、2日間に渡り、各地域で実践している素晴らしい取り組みの発表や、新たな地域での青年塾、企業ごとの青年塾立ち上げの発表が行われました。

上甲塾長からは、改めて「良き習慣が人生を変える」「真理は平凡の中にある」「人に良い影響を与え、一人でもやり続けること」「人格は音に表れる」など学びの多い講話をして頂きました。

当社も様々な取り組みをしている中の一つとして、青年塾の出身者が中心になり「食べ姿日本一」を目指しています。昼食時の社員食堂（会宝キッチン）で、社員一人ひとりが背筋を伸ばし美しく食べるように取り組んでいます。食べることへの感謝を大切にすると共に、小さなことの積み重ねが、人格づくりに繋がることを意識して実践していきます。

日本一
美しい食事姿勢の会社へ

【姿勢のポイント】

Step 1
お尻を前後左右に動かしゴリゴリ当たる坐骨のやや前側を椅子に当てる。

Step 2
耳・肩・坐骨が一直線になる姿勢を意識する。

Step 3
座った時に、坐骨2点と両足の裏の計4点で身体を支える。

【食事7則】

- 1 Face to Face
顔を上げて、一緒に食べる同席者を大切に。
- 2 指先フォーカス
指先には自分の心の表情が見える。指先はリラックスしゆとりをもつ。
- 3 一口サイズ
会話のリズムが乱れないよう、一口の量を意識する。※目安は一口3cm
- 4 自分ベクトル
箸、ナイフ、フォークなどの向きを意識して、嫌悪感を抱かせない。
- 5 ノイズキャンセル
おいしさを邪魔するノイズに配慮する。※味噌汁/お湯に当たる旨み/自分の強い香り/ふさわしくない服装
- 6 絶望キープ
盛りつけを崩さず、料理の姿を尊重する。
- 7 エンディング
「おいしかった」という最大級の感謝を伝える。

出所
竹井仁：「姿勢の教科書」
小倉朝子：「世界一美しい食べ方マナー」

人格は、 後ろ姿に表れる

この言葉のとおり、人は誰でも最初は「よそ行き」の顔になります。

しかし本当に大切なのは、その後。食べ方や姿勢、そして食べ終わった後の「後ろ姿」です。

どんなに立派なことを言っても、食事中に猫背になったり、音を立てたり、食べ終わってそのまま立ち去ったりすれば、それだけでその人の本質が表れてしまいます。

きれいに食べ、背筋を伸ばし、最後は静かに席を整える。その積み重ねこそが、日常で人格を磨く一番身近な行動です。

私たちは、「美しい食事姿勢」を通じて、働く人としても、人間としても美しくありたい。姿勢と後始末にまで心を込められる人でありたいのです。

社内ゴルフコンペ 『 第12回 会宝チェアマンズカップ 』



こんにちは、藤田信治です。4月26日、ツイン
フィールズゴルフクラブにて第12回「会宝チェア
マンズカップ大会」が開催されました。私にとっては初

参加。緊張しつつも、快晴の空と美しいコース、そして皆さんの笑顔に背中を押され、クラブを振る手も次
第に軽やかに。総勢17名が部署を越えて交流し、親睦を深める絶好のゴルフ日和でした。

ダブルペリア方式による集計の結果、優勝は
鈴木部長。おめでとうございます！賞品も工
夫された選定で、お肉やフルーツに加え、今
や貴重なお米まで・・・幹事の皆さんの心遣い
に感謝です。締めくくりに会長から「いずれ
は50名規模で開催を！」と話され、未来のコ
ンペに思いを馳せながら、温かな余韻に包ま
れた一日となりました。

★目的★

- ・ 社内の仲間と一体感を持って楽しみ、親睦を深める。
- ・ ルールとマナーを修得し、人間力を身につける。



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。5月は暖かいというより暑い日が増え、ハウス内は35℃を超えるときがありました。
先月とは打って変わって遮光、換気などでハウス内の温度を下げて、保温よりも温度を下げることに注力
しています。

5月もトマトの収穫は継続中です。皆様方に安心安全で美味しいトマトを食べていただくため、寒さ対
策から暑さ対策に切り替えて栽培管理を進めています。

露路栽培では5月下旬～6月初め頃に、いよいよ玉ねぎとにんにくの収穫ができます。トマトだけでなく
こちらもお賞味いただければ幸いです。

5月初めにはさつまいもと里芋を植えています。こちらは11月半ばごろから出荷の予定となります。

6月は梅雨の季節、農業にとっては心配事が増える季節です。カビや病気などの予防・対策をしつつ、
今後も皆様方に「しあわせのトマト」をご提供し続けられるよう奮闘してまいります。（担当：畠中）

会宝農園の野菜はこちらの
サイトからご購入いただけ
ます。



にんにく



社員海外レポート

萩原望さんの挑戦 ～ドリブル2,000kmインド横断～



私の友人である萩原望さんが、サッカーボールをドリブルしながらインドで約2,000kmを横断するという壮大な挑戦を成し遂げました。これは、2023年にオーストラリア人が達成した約337kmのギネス記録を大幅に上回るもので、彼は現在ギネス世界記録への申請を予定しています。萩原さんはインド最貧困州のビハールでサッカーチーム“FC Nono”を運営しており、子どもたちにサッカーを教える活動を通じ、ジェンダー教育や罪を犯した若者の更生支援にも尽力してきました。



今回のドリブル横断は、子どもたちにいつも指導する立場として、指導者である彼自信が「挑戦することの意味」を体現して示すものでした。彼がグルガオン(ニューデリーの手前30kmの町)に到着した際には、私も同行し、一緒に走らせてもらいました。炎天下の中、汗を流しながらたった12kmを私は同行しましたが、彼は毎日フルマラソンを超える距離を走り、1日の最大は100kmとのことです。身体が悲鳴を上げ、自然と涙が出てくる一方、いろんな思いが溢れ、不思議と心が満たされる日々だったと語ってくれました。我々のインド工場にも来ていただき、スタッフたちにも彼の挑戦について話をしてもらい、スタッフたちは彼から多くのインスピレーションを得たことと思います。彼の挑戦は、ただの記録ではなく、ビハールの子どもたちの未来への希望です。

(担当：宮川)

FC Nono ホームページ

<https://www.fcnono.com/>

朝日新聞デジタル版の記事<https://www.asahi.com/articles/AST5H4PV4T5HUHBI027M.html>



今月のパチリ

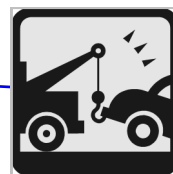


こんにちは。当社では「BKK（部門を超えた協力体制）」という制度があります。これは、部署の枠を超えて助け合う仕組みで、BKKという名前は“Bu-mon wo Koeta Kyoryoku”の頭文字からきています。例えば、ある部署が一時的に業務過多となった際、各部署から日替わりで数名が応援に入り、業務の平準化を図ります。BKKはすでに社内に浸透しており、社員一人ひとりが自らの業務を調整し、前向きに参加しています。BKKで行うことで他部署の仕事を知る貴重な機会となり、普段の業務では得られない気づきや改善案が生まれることもあります。また、社内のコミュニケーション活性化にもつながっています。BKKは会社全体の目標達成を支える大切な仕組みです。

これからも助け合いの精神を大切に、制度を継続していきます。写真は生産部のBKKに参加している総務部と国際営業部の社員です。(担当：川村)



相場情報 ～生産部より～



2025年5月 見込み台数

入庫台数 750台

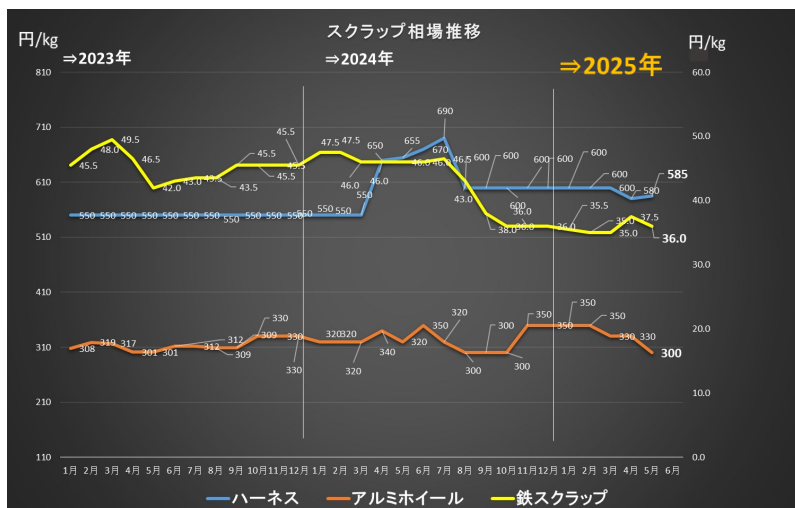
処理台数 740台

こんにちは、会宝産業の山口です。晴れた日の青空に夏の訪れを感じる季節となりましたね。

さて、相場はというと・・・円安に振れている事で、海外輸出に期待が高まった時期もありましたが、鉄や銅に関しては海外からの引き合いも少なく価格は上がりづらい状況が続いています。

国内需要も低調な事から、今後の値動きは海外市況と為替の動向で決まっていきそうです。

いっぽうでアルミに関しては海外からの引き合いが強く、円安と相まって価格は上昇傾向にありそうです。価格が上がりにくい時は如何にして品質や歩留まりを高めていく事が大切になりますね。



今月のピックアップ 第42回 KRA勉強会「ePartsWorld実績報告会」

5/15に第42回となるKRA勉強会を開催しました。今回のテーマは「ePartsWorld実績報告会」でした。（ePartsWorldとは、当社が開発したECサイトの名称で、今年から全国のKRAメンバー様にもご利用いただいております）今回の勉強会は2部構成で企画し、前半は会宝産業からの報告でしたが、後半はKRAメンバー企業様の成功事例報告でした。

今回発表していただいた企業様は、先月ePartsWorld経由で、10,000千円以上を売り上げた、スリーアール長野様です。発表していただいた鴨下社長のお話はとても説得力のあるものでした。国内売りは見込み生産だったが、ePartsWorldでは受注生産で無駄がない。そのおかげでオークションでも全然採算の取れる仕入れができるようになったなどなど。

実践されている方のお話には説得力があります。これから今回のような成功事例が生まれるように、お客様に喜んでいただけることを考えていきます。

（担当：佐藤）

月間売上(概数)	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月
20,000千円					
10,000千円					1社
5,000千円				1社	1社
2,000千円				2社	1社
1,000千円	1社	1社	2社		
500千円			2社	5社	5社
上記以外	1社	3社	1社	3社	4社
流通金額(概数)	1,421千円	2,434千円	4,279千円	17,941千円	23,254千円
成約社数	4社	4社	5社	12社	15社
規約契約社数	4社	4社	40社	41社	49社

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram



ご意見ご要望はこちらまで → TEL 076-237-5133 soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)